

## 茨城県南地区 PTA 連絡協議会女性ネットワーク委員会研修会報告

いばらき教育の日講演会

演題「自立心と思いやりを育てるコミュニケーション」

講師：親業訓練シニアインストラクター 富澤優江氏

開催日：平成30年11月10日（土曜日）

会場：茨城県南生涯学習センター 多目的ホール

以下、報告と感想になります。

大切なことは2つ。

1. 黙って聞くこと。または、子供言ったことをそのまま繰り返して言うこと。子供は受け入れられていると感じ、話をすることができる。話しているうちに、自分のなかで整理が出来て、どうすればいいか自分で解決の糸口を掴むことができる。それが、自立を促すことに繋がっていく。
2. 「わたし」を主語にして話すこと。

悪い例「なぜこんなになってからお弁当を出すの？」

言い換え「私、何日もたったお弁当、すごく臭うから、洗うの嫌なんだよね」

講演は、子供が「学校に行きたくない!」と言ったら、どう答えますか?という質問から始まり、それぞれに答えを思い浮かべました。そして、叱るのも、なだめるのも、同意も、褒めるのも良くないという例を講師の臨場感にあふれる演技で、参加者を子供役にロールプレイしていただきました。言うてはいけないセリフはどれも、母親なら一度は言ったことがあります。ありそうなフレーズで頭を抱えたくなり、会場も笑いに溢れました。

講演の途中で「もっと早く聞きたかった」と考えていると、先生が「中学生だから遅いわ、と思っているかもしれませんが、中学生でも間に合います。」と実際に、中学生のお話を聞くことに徹して、成功した方のお話を聞くことができました。

研修で学んだことは、多くの方に伝えて行きたいと思います。

